

案件化調査：水の浄化・水処理分野

チュニジア チュニジア国でのRO膜処理による都市下水高度処理および 処理水の農業用水への展開

企業・サイト概要

- 提案企業：日本ピュアウォーター株式会社・アクセンチュア株式会社共同企業体
- 提案企業所在地：石川県・東京都
- サイト・C/P機関：チュニス/ガベス、チュニジア下水公社 (ONAS)

チュニジアの開発課題

- チュニジアでは、特に中部・南部において慢性的な水不足の状況に陥っており、既存の表層水・地下水の開発には限界が近づいている。
- 農業水資源省は、農業用水としての新たな水資源の開発に強い興味を示している。
- 都市下水高度処理水の利用は、水質に問題がなければ農業・工業に利用可能という政府の見解であり、将来の利用が求められている。

中小企業の技術・製品

- 提案企業は、機能膜（逆浸透膜、ナノろ過膜、限外ろ過膜、精密ろ過膜）技術を中心とし、水処理にトータルに対応するエンジニアリング会社である。
- 提案企業は、機能膜処理プラントの運営については、グローバル大企業と同等以上の技術を保有している。

提案されたODA事業及び期待される効果

- 都市下水高度処理パイロットプラントの設置（無償）・運営により、都市下水高度処理水の高水質を実証し、新しい水資源として提案する。また、処理水の用途として太陽光発電を備えた植物工場の展開を検討する。
- 有償資金協力により都市下水高度処理プラントを中南部広域に設置・運営し、水資源保全に貢献する。

日本の中小企業のビジネス展開

- 都市下水高度処理プラントの設置・運営により、チュニジア国およびアフリカ諸国でのビジネス展開の足掛かりとする。

